

第一次佐久市総合計画後期基本計画「チャレンジ!!」の進行状況(最終まとめ)

資料2

※ 事務局による類型
 ■: A 「チャレンジ!!」達成済
 ■: B 具体的取り組みを実施中
 □: C 未着手(取り組みを検討中)

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
111	文化・芸術	文化関連施設が連携して、新たな事業に取り組むことにより、施設の魅力を高め、利用者の増加と文化振興を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	連携可能な施設で共催の事業を実施した。貸館系施設において自主事業を増やしたことにより観覧者の増加につながった。	文化関連施設が連携した事業を企画開催するため、館長会議を継続する。案内パンフレット等を管内小中学校等へも配布するなど、広報活動に努める。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
112	地域間交流・国際交流	交流人口創出プログラムの実施により、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	移住希望者への様々な情報発信により、移住定住の推進を図った。また、友好都市等との交流事業では、首長、議長はもとより、民間レベルでの各種交流事業を促進した。	更に宅建協会と連携し、空き家バンクの登録物件の充実により、移住定住の推進を図る。また、友好都市等との各種交流事業の推進により、交流人口の増大を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
113	人権尊重社会	すべての市民がお互いを尊重し、思いやる差別事象0(ゼロ)のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・差別事象ゼロを目指し、小学生を対象とした「人権の花運動」(H28は3校)や、広く市民を対象とした人権同和教育講座を開催した。また、教職員やPTA・企業の皆さんを対象とした研修会等を開催し人権意識の醸成と意識改革を図った。 ・隣保館では生活文化の向上と、人権意識の高揚、住民福祉の向上を目指し、啓発・広報活動の実施及び各種教室を開催し交流を図った。生活相談員の配置により相談体制の充実・強化を図った。	・差別やいじめ、虐待等による人権侵害をなくすため、各種事業を推進し、人権感覚の醸成と意識改革を図っていく。 ・隣保館では各種事業において啓発活動を推進し、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っていく。また、生活相談員による相談体制の充実を図っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
114	男女共同参画社会	DV被害にあった時に、市役所に相談窓口があることを知っている市民の割合が100%になることを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	佐久市ホームページ及び広報を通じて女性相談窓口を周知した。その他、他課や他機関が発行・掲載している相談窓口情報を活用して周知を行った。また、国や県、医療機関からの照会に対し、女性相談員の配置についてPRした。	今後も様々な媒体及び庁内や県、圏域のネットワークによる連携を図り、啓発を行っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
122	学校教育	中学校区ごとの教育推進会議を中心に、小学校から中学校に子どもたち一人ひとりの教育成果・課題をスムーズに引き継ぎ、小中学校間で指導の方針や方向を共有して、義務教育9年間の学びの充実を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	中学校区ごとの教育推進委員会を推進し、小中学校間での日常的な交流の推進を図った。特に、中学校の英語科教師とALTによる小学校での出前授業、中学校区内の小中学校教師の合同研修など、中学校区ごとに工夫して取り組んだ。	中学校区ごとの取組を継続するとともに、市教育委員会では、児童生徒の一層の学力向上を願い、学力向上会議、(小中学校)研究主任会議などを通じて教師の指導力の育成を図っていく。また、一人でも多くの不登校生が学校に戻ることができるよう不登校となっている子どもたちを温かく支援していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
123	高校教育・高等教育	本市の環境を生かした高等教育機関の誘致など、高等教育機会の拡充を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	高等教育機会の拡充策として、奨学金の貸付を通じた高等教育への就学支援を行った。	高等教育機会の拡充を推進するため、奨学金制度がさらに活用されるよう検討する。また、市内高等教育機関との連携を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
124	青少年の健全育成	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化し、青少年を健全に育成する地域ぐるみの取り組みを充実させます。	B 具体的取り組みを実施中	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化するためには、育成推進員・補導委員の資質の向上が不可欠であることから、研修会や関係団体との合同活動等を実施した。また、青少年健全育成市民集会を開催し広く市民に啓発した。	今後も研修会や合同活動等の場を提供し、育成推進員・補導委員が地域で十分な活動が出来るよう支援することで、取組を充実するとともに、引き続き青少年健全育成市民集会を実施し市民に啓発していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
131	生涯学習	周辺市町村との連携により、公共図書館の広域ネットワークの構築を目指します。	C 未着手(取組みを検討中)	佐久地域定住自立圏検討部会(社会教育部会)において、定住自立圏により推進する具体的取組としての項目であるが、構成各市町村において、市町村独自のシステムの構築・導入が進んでいる中、取組まないとした市町村も多く、すぐに取り組むことは難しい状況である。県での横断検索システムや、公的図書館間における相互貸借の機能が確立されている中、現状やネットワークシステムの構築の必要性等について確認、検討した。	各市町村において、図書館システムの構築方法、契約年数等、また利用登録についての制限等の違いや意向があるため、現状では難しい状況である。今後、時間をかけ検討する。	具体的な取組に着手できるよう、引き続き協議を進めてもらいたい。
132	スポーツ	全国大会などで活躍が期待される競技者の育成を促進するとともに、一流のスポーツに触れ感動する機会の充実を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	スポーツの指導者研修の実施(年2回)やスポーツ少年団のリーダー研修(年1回)を実施した。スポーツイベントとして、ハーフマラソン大会で世界陸上やオリンピック出場選手をゲストランナーとして招致、また、スポーツ指導者講習会でも、オリンピックを講師に開催し、一流スポーツに触れる機会や学ぶ機会を創出した。	スポーツ指導者のスキルアップに向けた研修を続けるとともに、一流スポーツに触れる機会を企画立案していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
211	高速交通ネットワーク	松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	松本地域、上小地域及び佐久地域を地域高規格道路で結び、各地域の交通と産業経済の発展を図るため、関係市町村で組織された期成同盟会を通じて要望活動を行った。	整備には、県が地域高規格道路の候補路線として位置付けることが前提となることから、関係市町村と連携を密にした取組を進めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
212	地域交通ネットワーク	市民の日常生活に必要な交通移動手段を確保・維持するため、民間交通事業者、市民と一体となって地域公共交通の充実に取り組みます。	B 具体的取り組みを実施中	運行状況の検証、利用者等からの停留所の追加、運行経路の一部変更、巡回バス展示広報、乗車ヒアリング等の各種調査等に努めてきたことや、平成28年4月の山手線の増便等の効果から、平成28年度中の延べ利用者数は、112,079人と前年度より増加した。引き続き多くの市民に公共交通利用促進を理解していただき、増加傾向を維持していくことが課題である。	今後更に高齢化社会が進行し、自家用車等の交通手段を持たない交通弱者の増加により、公共交通の需要は高まっていくと予想されることから、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
221	土地利用	産業の活性化、雇用の増大を目指し、土地の有効利用を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	国土利用計画の方針に沿って商業集積及び企業誘致が図られるよう市内適地について、全庁横断的な体制で、協議・検討を行った。	中部横断自動車道の佐久南IC以南の開通や北陸新幹線の延伸により、商業集積及び企業誘致に好機となる時期であるので、雇用拡大につながる土地利用を全庁的に推進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
222	市街地	都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。	B 具体的取組を実施中	市内6箇所で定めた地区計画区域内における行為の届出に基づき、適合審査を行っており、平成28年度における審査実績は15件であった。 また、良好な市街地の形成、生活環境の保全を図るため、開発指導者に対して、佐久市開発指導要綱に基づく適正な指導を行っており、平成28年度における審査実績は35件であった。	引き続き、地区計画並びに開発指導要綱に基づく適切な開発指導を行っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
223	住宅・宅地	公営住宅の管理方法について、指定管理者や管理代行制度などを研究し、効果的な手法を導入します。	B 具体的取り組みを実施中	市営住宅1,082戸（公営住宅834戸、改良住宅63戸、厚生住宅127戸、特定公共賃貸住宅26戸、その他住宅32戸）の緊急修繕、計画修繕等の維持管理及び使用料徴収等を管理代行及び指定管理により長野県住宅供給公社に委託した。	今後も委託先である長野県住宅供給公社と連携を図り、市営住宅入居者の住環境の保全と、使用料徴収率の向上を目指す。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
231	高度情報通信ネットワーク	市内の（市外でも）どこでも市役所とつながる、「電子自治体」を実現します。	B 具体的取り組みを実施中	庁内LANによる周知とともに、直接勧奨により電子申請システムの活用促進を図った。 H26年度実績 31項目 申請件数 771件 H27年度実績 27項目 申請件数 777件 H28年度実績 20項目 申請件数 924件	電子申請を活用できていない部署へ、活用促進を勧奨する。 平成30年度、電子申請システム共同利用の更新を向かえるが、次期電子申請システムは各部署が現在より更に活用しやすいシステムが導入できるよう、調達WG（長野県市町村自治振興組合）へ積極参加し要望する。 自治体クラウド（電算システム共同化）への参加を検討し、電算システムにかかる経費削減を目指す。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
311	農業	本市の風土や条件に適した新品目の導入を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	新品目導入試験ほ場において、実証試験栽培及び普及を進めてきた佐久古太きゅうりについて、生産者による保存会が発足し、長野県伝統野菜の登録に向け生産者の意思の統一が図られた。	新規就農者や定年帰農者向けの講習や技術指導会の実施をはじめ、より多くの品目が普及できるよう、市の施設などでもPRを行っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
312	水産業	佐久鯉の消費拡大のために、新しい調理法や新商品を開発します。	B 具体的取り組みを実施中	鯉の消費拡大を目指し、関係者による協議会を新設するとともに、農業祭や料理教室における新たな食べ方の提案や、PR用のパンフレットの作成等を行った。	鯉刺身の旨みに関する調査を行い、最も良い状態での流通が図れるよう生産者との協議を行う。飲食店側が鯉の刺身を利用していることをPRするためのイベントを開催する。水田耐等の他の内水面養魚に関する支援も引き続き実施する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
313	林業	地場産材であるカラマツ材などを公共施設などに活用し、地場産材の利用を推進します。	B 具体的取り組みを実施中	森林整備事業により搬出した市有林の間伐材が「佐久市公共建築物・公共土木工事等における木材利用促進方針」に基づき、市内公共施設（佐久市立城山保育園、佐久市立もちつき保育園、道の駅ヘルシーテラス佐久南など）の木造化の取組として構造材（柱、梁、桁、土台等）などの建築用材として活用した。	地元産材であるカラマツ材などの公共施設への積極的な活用を促進し、これら公共施設を利用する多くの方々に対して、木とふれあい木の良さを実感する機会を幅広く提供することで住宅など一般建築物への活用を促進する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
321	商業・サービス業	商店会組織の機能強化と活性化を図り、地域商店街の魅力を向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じ融資の手続きを進めた。また、成果の把握に留意し、商店街組織の行う「まちおこし事業」等に対する支援を継続して行った。	商工業者の経営は厳しい状況が続いているため、商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じた施策を進めることで、地域商店街の魅力を向上させ、地域経済の活性化を推進する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
331	観光	市民交流ひろばを活用した大型観光イベントを実現します。	B 具体的取り組みを実施中	軽井沢からの誘客として、FM軽井沢の出演や観光施設などへの誘客PRを行うとともに、各種連絡協議会等の広域的連携による観光宣伝を実施した。また、市民交流広場でのバルーン搭乗体験による誘客宣伝を実施した。	誘客PRを継続して行うとともに、新たな顧客の獲得、佐久市の認知度を高めるため各種イベントの開催や積極的な参加を行っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
341	工業	企業立地を実現させるとともに、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	企業立地については、民間取引ではあるが三河田工業団地へ1社の企業誘致に成功した。工業振興においては、ものづくり支援事業や販路拡大事業により既存企業の新産業創出のための支援を行ったが、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積には至らなかった。	今年度設立を予定している産業支援機関及び佐久市健康長寿産業振興ビジョンにより、既存企業による医療、福祉関連産業の創出を新たに図ることができる。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
351	就労・雇用	地域内の働く場と雇用機会を確保し、新規学卒者の地元企業への就職を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	就職支援員による企業や学生等のニーズ把握や分析により、より効果的な就職相談会の開催を行うとともに、社会情勢に対応した支援策を検討した。	就職支援員による関東圏の大学、短大等への訪問により、市内企業のPRを進めるとともに、ハローワーク等の関係機関と連携する中で、雇用の創出を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
411	福祉のまちづくり	全地区が災害時住民支え合いマップを完成し、必要に応じて見直し更新を行います。	B 具体的取り組みを実施中	民生児童委員協議会開催時に、災害発生時等における、マップ作成の必要性を重ねて説明したところ、理解が得られたことにより、着実にマップ作成区が増え、平成28年度末において、平成27年度末から3区増の239区でマップが作成された。	今後も社会福祉協議会等を通じて、マップ未作成の地区において作成をしていく。また、作成された地区においてはその見直しを進めていくよう推進し、災害時に区長や民生委員と連携し、支え合いマップが有効に活用できるように、マニュアル整備など関係者と検討していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業を通じ、健康寿命を延ばします。	B 具体的取り組みを実施中	・平成28年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」の開始。(65歳以上の方を対象とした市が行う介護予防事業で、介護保険の認定を受けていなくても、一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスをスムーズに利用することができるもの) ・介護予防事業を21事業実施した。そのうち、後期高齢者の介護予防や健康の維持増進について指導を行う「75歳・80歳おたっしや訪問指導1,821人実施した。一般高齢者向けの参加型事業は、「はつらつ音楽サロン」「転倒骨折予防事業」「スクエアステップ教室」等8事業を実施し、実人員は2,789人の参加があった。また、保健師・栄養士・理学療法士が地区に出向き、介護予防の講話や実践指導を行った。	医療・介護・保健・福祉の各分野の連携を図り、高齢者が自立した生活ができるよう支援を行っていく。また、高齢者自身が支え手になり、介護予防を实践していける体制の整備を更に推進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
413	障がい者福祉	障がい児・者及び家族に対するライフステージに応じた一貫した相談支援体制の充実を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	指定特定相談支援事業所・相談支援専門員の拡大について、事業所連絡会及び佐久圏域事業所連絡会等において、研修会の受講と指定特定相談支援事業所の開設等について事業所に働きかけた。(平成28年度末相談支援事業所数15、相談支援専門員31名) 発達障がい及び心身の発達の気になる児童に対し、成長段階ごとに関わる支援関係者が情報を共有し、一貫した支援ができるためのツールとして作成した「サポートブック虹のかけはし」を希望者に配付した。	障害福祉サービス利用者に対して、障がい者の社会参加・就労支援のための相談支援体制を充実させるため、引き続き相談支援事業所連絡会等において相談支援専門員の研修の受講についての依頼をしていく。目標数値：平成29年度相談支援事業所数22、相談支援専門員33名 「サポートブック虹のかけはし」については、今後も就学相談説明会やはぐくみ相談等において保護者へ周知をし、活用の推進を図るとともに、内容の見直しを図っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
421	健康増進	食育を通して食を大切にすることを育み、朝食を毎日食べる小学生・中学生の割合を100%にします。	B 具体的取り組みを実施中	佐久広報やCATV、FMIにおける啓発活動、小学校での健康ポイントミニ講話、さくさく食育応援隊による幼児対象の食育活動を実施し、朝食摂取の必要性等を啓発した。	未就園児の集まる場や保育園、学校において、食育応援隊による食育活動を強化していく。市民全体に食育の必要性を啓発する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
422	保健活動	住みやすい社会を目指し、多様な悩みを抱える方を支援する絆を拡大するなど、「生きるための支援」に取り組むことにより、自殺者0人を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	毎日の電話相談事業として平成26年よりフリーダイヤル化した「こころのほっとライン佐久」を実施。また、「ゲートキーパー養成講座」・「心の健康づくり講座」を開催するとともに、新規に「中学生向け自殺防止啓発事業」を実施し、自殺防止の0次対策を行った。	今後も相談事業は継続するとともに、関係機関、周辺市町村とも連携して啓発活動を実施する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
423	医療	市民・地域・医療機関との連携・協力を進め、日常の生活圏において必要なときに必要な医療サービスを受けることのできるよう地域に密着した地域完結型医療を構築します。	B 具体的取り組みを実施中	平日夜間や休日小児の初期救急医療を確保するため、浅間総合病院内に急病診療センターを開設している。また、初期救急から3次救急までの安定的な医療提供体制を確立するため、佐久総合病院再構築を支援するとともに、佐久医療センターと他の医療機関の役割分担について、市民理解を得る取組を進めた。	今後も急病診療センターを継続して開設する。医療連携協議については、佐久医療センターと他の医療機関の役割分担が明確になる中で、医療の安定供給を促すための連携協議を継続するとともに、正しい医療機関のかかり方等について、引き続き市民に対する啓発活動を継続する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
424	医療保険・国民年金	特定健康診査の受診率を65%まで引き上げます。	B 具体的取り組みを実施中	受診の必要性についての啓発に力を入れ、広報誌掲載（3回）やFMさくいだいらの「佐久市からのお知らせ」出演（2回）による呼び掛け、未受診者に対する電話（558件）・はがき（12,024通）による呼び掛け、9月の受診勧奨月間に合わせた街頭PRのほか、被保険者証一斉更新時に啓発チラシの同封などを行った。また、受診者の経済的負担を軽減するため、節目年齢（40、45、50、55、60歳）の受診料無料化を導入した。受診率は、H29.7月現在でH27確定値と同じ39.9%となっており、H28の確定値は、初めて40%台になることが見込まれる。	若い世代の受診率が低いことから、これまでの取組と合わせ、引き続き未受診者が多い若い世代が多数所属する商工団体や、JA団体及び各種団体が行う会合等に出向き、健診の重要性を伝える取組に力を入れていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
431	母子保健	父母への啓発活動の強化などにより、乳幼児健診受診率100%を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	乳幼児健診で愛着形成を視点においた指導、助言、衛生教育を実施した。受診率向上のため、きめの細かい周知や個別の連絡に取り組んだ。	母子保健事業は、子どもを安心・安全に産み育てるための基本事業であるため、今後も社会情勢等の状況を踏まえ、事業を展開していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
432	子育て支援・児童福祉	本市の合計特殊出生率を1.6から1.9まで伸ばします。	B 具体的取り組みを実施中	子育て支援事業は133事業の各種施策を実施した。その中でも、つどいの広場事業は、地域の子育て支援拠点施設として、子育て中の親子の交流の機会や子どもの遊び場の提供、また、子育て専門相談員による子育てに関する悩みの相談・助言など、育児不安解消に向けた支援の充実を図ることができた。また、延長保育や一時保育、障害児保育、休日保育等についても、多様なニーズに対応した保育サービスを提供することができた。	合計特殊出生率の上昇に資するよう、今後も各種施策を実施することにより、安心して生み育てることのできる子育て支援環境を提供していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
511	環境保全	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率、3%を目指します。	A 「チャレンジ!!」達成済	平成28年度末現在、市内における自然エネルギーを用いた電力自給率は13.78%となり、後期基本計画に定める目標値はもとより、「佐久市環境エネルギー重点プラン」に定める目標値13%についても達成することができた。国が進めるエネルギー施策の下、市営メガソーラー発電所の建設や太陽光発電設備の設置に対する補助金の交付等、日照時間が長い本市の特長を生かした施策の成果と考える。	平成29年度中に策定する第二次佐久市環境基本計画において、電力自給率の目標値を定め、引き続き太陽光や木質バイオマス、水力等、市内にある豊富な自然エネルギーを活用し、電力自給率を高めていく。	新たな目標が達成できるよう、さらなる努力を期待したい。
512	街並み緑化・公園・景観形成	アダプトシステムによる公園管理の実施率を36%まで向上させます。	A 「チャレンジ!!」達成済	管理委託をしていた行政区等に対するアダプトシステムへの移行の働きかけや佐久広報、市ホームページで募集を行い、H25年度末で27公園（43%）で実施したが、H26年度においては、参加団体の都合により1公園減少となってしまった（41%）。H27年度、H28年度とも区等に働きかけたが参加にまでは至らなかった。	アダプトシステムの実施率は41%と現在も横ばい状態である。新たなアダプトシステム参加団体を確保できるように活動等をHP等で紹介しながら働きかけていくほか、必要となる用具や資材の貸与または支給を行うなど実施団体への援助を引き続き行っていく。	新たな目標が達成できるよう、さらなる努力を期待したい。
521	環境衛生	1人1日あたりのごみ排出量が少ない都市、全国1位を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	家庭系ごみの減量について、生ごみ処理機等の導入に対する補助のPRを広報等で行うとともに、ごみの減量化についてのパンフレットを作成し全戸に配布した。また、事業系ごみについても可燃ごみの減量に関するパンフレットを作成し、事業所へ配布、訪問指導するなど啓発に取り組んだ。	平成27年度の1人1日あたりのごみの排出量は691g/人・日で昨年とほぼ同じであったが、人口減少により人口10万人以上50万人未満の対象から外れてしまったため4位より後退してしましたが、引き続き3R（排出抑制、再使用、再生利用）運動の推進に取り組んでいく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
522	上水道	水を自然流下方式で配ることができる地形を生かしながら、太陽光発電を導入するなどにより、環境に配慮した水道を構築します。	B 具体的取り組みを実施中	電気エネルギーなどの使用を抑制するものとして、自然流下方式を生かした配水方法を継続し、ポンプによる加圧給水は必要最低限で運用した。	太陽光エネルギー等による節電対策、自然流下方式による配水を継続し、引き続き、環境に配慮した水道の構築を促進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
523	下水道	市内の全戸水洗化を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	平成22年度より、下水道供用開始区域の未接続世帯を対象に水洗化促進の戸別訪問を行っている。	今後も戸別訪問を継続し、未接続の理由を分析し、水洗化率の向上を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
611	防災	地域ごとの特性を考慮した防災対策を推進し、地域防災の強いまちをつくりまします。	B 具体的取り組みを実施中	自主防災組織は、地域コミュニティが重要であることから、防災の高揚を図るために出前講座などを通じ、各地域などで積極的に講演会などを展開した。	引き続き、「自助・共助・公助・近助」の役割について、自主防災組織の防災組織体制力の向上を図る。さらに、防災告知について、新たな地域発展を含め、充実を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
612	消防・救急	消防・救急体制を充実し、市民の財産・生命を守ります。	B 具体的取り組みを実施中	救急隊員や救急救命士の育成及び医療機関との連携を促進するとともに、消防団員に対し安全確保のための装備品や救助活動用資機材等の配備を行い、消防・救急体制の充実を図った。	佐久消防署庁舎等の整備については、平成26年度に完了した。今後は、訓練塔の建設について、平成32年度に竣工する予定である。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
613	交通安全	交通事故死者数0(ゼロ)のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	幼稚園、保育園、小中学校、老人クラブ等における交通安全教室の開催、交通安全市民大会の開催、交通安全運動と連動した交通指導所の開設、自転車運転者講習制度の街頭啓発、年末の飲酒運転撲滅パトロール等の活動を関係機関団体と協力して行った。	交通安全運動に伴う交通指導所の開設、交通弱者を対象とした交通安全教室の開催、交通安全市民大会の開催等により、交通事故防止の啓発活動の推進と安全意識の高揚を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
614	防犯	地域防犯体制の充実と地域住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪のないまちづくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	防犯体制については、佐久市防犯協会等の団体と連携し、地域の防犯組織が年間を通じて活動した。その活動を通して、住民の防犯意識の高揚を図った。	引き続き、行政、防犯協会、警察、教育機関、PTAなど関係機関の連携を強化し、市民総ぐるみの防犯体制、防犯環境を整備していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
615	消費生活	振り込め詐欺などの消費被害の根絶を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・佐久市消費生活センター相談員による相談業務を推進した。 ・市内老人クラブ等に対し、高齢者悪質商法等被害防止教室(31回)を開催した。	悪質商法、特殊詐欺の被害者に高齢者が占める割合が多いことから、引き続き高齢者に対する被害防止教室を実施していくとともに、身近な犯罪で金銭的被害も大きいことから、市民に対する啓発活動を推進し、関心を高めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンターを拠点として、市民活動支援のための情報ネットワークを構築し、人と人を結ぶ心豊かなまちをつくりまします。	B 具体的取り組みを実施中	公設民営による運営の利点を生かし、市民目線での支援業務を行った。市民活動サポートセンターが様々な市民活動を結びつける拠点となり、市民活動に関する情報の収集・発信、相談・コーディネート、活動場所の提供等の業務を実施した。	今後も、情報の収集・発信、相談・コーディネート等の基幹機能の充実・強化に努め、市民を支援するために、市民活動の情報ネットワークを推進する。また、市民活動の活性化を図るため、様々な活動団体や市民の交流の機会を提供するとともに、各種講座を開催する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
622	コミュニティの育成	一人ひとりの活力により、市民同士による共助と地域の魅力を高めまします。	B 具体的取り組みを実施中	コミュニティの活性化のため、区の活動や区長の業務に対する交付金の交付を行った。区長会と行政の懇談の機会を設けるなど、連携強化に努めた。	都市化の進展と共に、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にあることから、区への活動への参加について理解が得られるよう努めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
623	公共施設	統廃合も含めた公共施設の適正配置と効率的な運営や維持管理を進めます。	B 具体的取り組みを実施中	平成25年度に「佐久市公共施設白書」及び「佐久市公共施設マネジメント基本方針」を公表した。 平成26年度は市民の公共施設に対する潜在的なニーズや意識を把握するための市民アンケートを実施し、また、市職員に対しては公共施設に対しての問題意識を共有するため、職員研修を実施した。 平成27年度は「佐久市公共施設白書～公営企業施設編～」の作成が完了した。 平成28年度は「最適化推進方針」を含めた「佐久市公共施設等総合管理計画」の策定が完了し、「個別施設計画の作成要領等の検討」を進めた。	公共施設マネジメントを進めていくにあたり、市と市民が課題を共有し、互いに協力して取り組んで行くことが重要となるため、関係機関や地域で活動している住民等、多くの関係者に参画してもらう場を設け、合意形成を図っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
624	行財政	自主財源の確保対策などにより、財政力指数の向上を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	財政力指数の向上のためには、自主財源の確保が重要であることから、主たる自主財源である市税等の増額を図るため、企業支援や企業誘致など仕事と雇用の確保に資する事業に対し、予算の重点配分を行った。	企業誘致等の施策が徐々に成果を上げつつあることから、今後も仕事と雇用の確保に資する事業に対し引き続き予算の重点配分を行い、「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示す「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶという好循環の確立により自主財源の増加を図ることで、財政力指数の向上を目指していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
625	広域連携	佐久地域の中心市としての役割を果たし、佐久地域全体の魅力向上と一体感のあるまちづくりを進めます。	B 具体的取り組みを実施中	「佐久地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき各種事業を推進した。また、当該ビジョンが平成28年をもって終了することから、新たに連携する項目について圏域市町村と調整を進め、「ICT教育の推進」、「六次産業化による農業振興」、「道路交通インフラの整備」の3分野を新たに加えた「第2次佐久地域定住自立圏共生ビジョン」を策定した。	圏域住民の生活に密着したサービス、事業を展開し、将来にわたり安心して暮らすことができる佐久地域を目指すため、平成29年からスタートする「第2次佐久地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域市町村と連携、協力し事業を推進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。